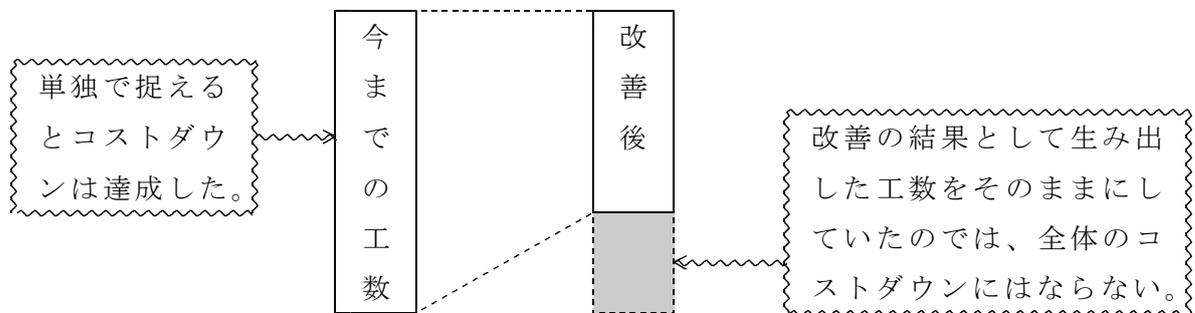


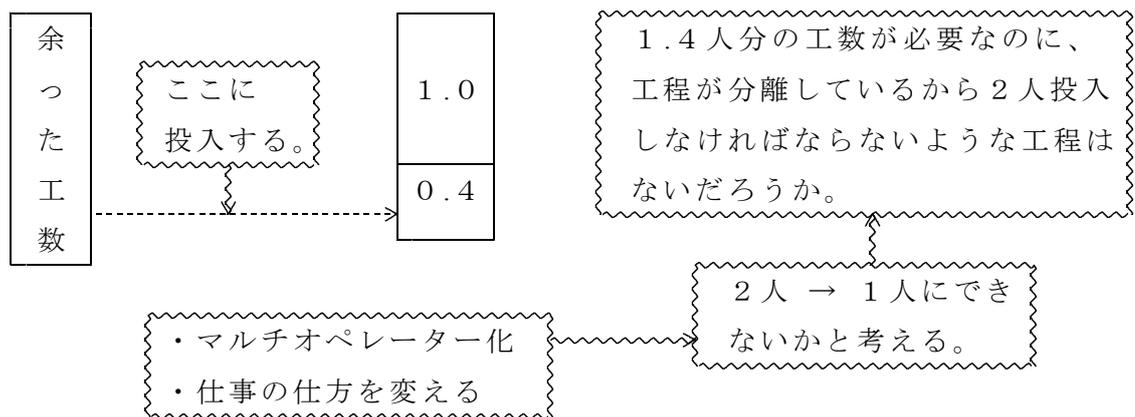


能率が向上した分を何に充てるのか

工程の中に潜んでいるムダを発見し、改善活動を進めていった結果として、ひとつの作業に関わる時間を短縮することができた。そのために早く作業が終了することになるのだが、そこで余った時間を何に使うのだろうか。明日の予定を先取りしていたのでは作りすぎを発生させることになるし、一時的に清掃活動をするのもいいが、それでは本当のコストダウンに結びつけることができない。



他の工程の小数点分の工数の対応をする



人を減らすことを念頭におけ

改善が定着していない会社に限って、「人が余った場合、その人たちをどうすればいいのか？」などという質問が出される。改善が進めば、業績が拡大していくことによって、いくらでも人材（財）が必要になってくる。そんな心配を、一度くらいしてみたいものだ。